



世界の川の水が海に流れているのに、海の水はあふれないの

世界の海から、たくさんの水が蒸発している

川が上流、中流、下流へと流れていくにつれて、地下水や川の支流の水が、流れこんでいたり、川が合流して、流れるようになっていたりして、だんだん水の量が多くなり、海に流れこんでいきます。

世界の川の水が、海に流れこんでいるので、海の水はあふれてしまうのではないかと、思っています。ところが、海の水はあふれないのです。

地面の水、川や湖、池やぬまの水、海の水など、地球上にはたくさんの水があります。これらの水は、少しずつ蒸発して、いつも水蒸気になっています。

地球全体から、1年間に約38万立方キロメートルの水が蒸発しています。この水は、地球全体を、約80センチメートルの厚さでうめつくす、水の量だといわれています。そのうち、海からは、約75パーセントの水が蒸発するといわれています。

海の水があふれないのは、世界の川の水が海に流れこむ量よりも、海から蒸発する水の量がずっと多いからです。

水は陸や海と空の間をめぐっている

海や陸から蒸発した水蒸気は、上空に上がって雲になり、雨や雪となって陸や海にもどってきます。雨や雪になって陸に降った水は、川の水に流れこんだり、地下水になったりします。川の水は、ふたたび海に流れこみます。

このように、水は姿を変えながら、陸や海と空の間をめぐっています。このために、海の水はあふれないのです。（監修・国司 真）

